

日本協同組合学会 Newsletter

Vol. 23 No. 4 (通巻 59 号)

2012 年 7 月 18 日

～第 32 回大会案内号～

発行 日本協同組合学会 責任編集 会長 関英昭
〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町 11 番地 飯田橋レインボービル 5 階
J C 総研 (日本協同組合総合研究所) 協同組合研究部内 日本協同組合学会事務局
TEL: 03-6280-7254 FAX: 03-3268-8761
E-mail: kyodo-gakkai@jc-so-ken.or.jp ホームページ: <http://coopstudies.jp>

日本協同組合学会 第 32 回大会案内



第 1 日目 9 月 29 日 土曜日

- 大会シンポジウム 9:30～16:20
- 記念講演 16:30～17:10
- 会員総会 17:10～18:00

会場: JR 福井県立大学 (福井キャンパス) 共通講義棟 L108 教室

●懇親会

会場: JR 福井駅前 A O S S A ビル 3 階 ウェルアオッサ 18:30～20:30

第 2 日目 9 月 30 日 日曜日

- 個別論題報告会 9:30～12:00 (報告者数によって、多少時間が変動します)

会場: 福井県立大学 (福井キャンパス) 共通講義棟

- 地域シンポジウム 13:00～16:30 会場: 福井県立大学 (福井キャンパス) 共通講義棟 L108 教室

★1 日目と 2 日目は、JR 福井駅-会場間で無料送迎バスを運行します (後述)

第 3 日目 10 月 1 日 月曜日

- エクスカージョン 8:30～16:00 (福井市周辺の生協、農協、森林組合と永平寺観光)

<申込案内>

基本参加費: 会員 1,500 円 非会員 2,000 円 (報告要旨集のみ希望者 1,800 円)

懇親会参加費: 参加申込ハガキでの事前申込者 一般会員 4,500 円 (当日参加 5,000 円)

学生会員 3,000 円 (当日参加 3,500 円)

エクスカージョン: 参加申込ハガキでの事前申込者 4,000 円 (原則、当日参加は受け付けません)

最大人員 25 名程度とし、15 名未満の場合は開催しない場合があります(その場合、申込み代金は返却します)。

昼食について

福井県立大学周辺では、徒歩範囲で昼食がとれる場所が限られています (大学の食堂も閉店しています) ので、第 1 日目 (9 月 29 日) および第 2 日目 (9 月 30 日) の昼食は、できる限り事前に弁当をお申し込みください。お茶付き 800 円ですので、参加申込ハガキで申し込むとともに、参加費等とあわせて代金を振り込んで下さい。なお、大学正門を出たところにコンビニエンス・ストアがありますので、弁当等を購入することは可能です。

☆同封の参加申込ハガキに必要事項を記入の上、**8 月 31 日 (金) 必着**で送付して下さい。

また、学会参加者・報告要旨集希望者は、必要な代金を下記口座に **9 月 7 日 (金) までに送金**して下さい。

振込口座

郵便振替 加入者名：日本協同組合学会 口座番号：00140-5-557520
農林中央金庫 本店 (958) 日本協同組合学会 口座番号：NO. 5026910

実行委員会連絡先

〒910-1195 福井県吉田郡永平寺町松岡兼定島 4-1
北川 太一 (実行委員長：経済学部)
福井キャンパス Tel：0776-61-6000(内線 2707) E-mail：tkita@fpu.ac.jp
長谷川 健二 (海洋生物資源学部)
小浜キャンパス Tel：0770-52-6300(内線 1514) E-mail：hasega-k@fpu.ac.jp

9月29日(土) 大会シンポジウム プログラム

福井県立大学 (福井キャンパス) 共通講義棟 L108 教室
テーマ「パラダイム転換と協同組合～お任せから自立的参加へ～」

会長挨拶	関英昭 (青山学院大学)	9:30~9:35
実行委員長挨拶	北川太一 (福井県立大学)	9:35~9:40
座長問題提起	志波早苗 (パルシステム生活協同組合連合会)	9:40~9:55
＜第1部＞自然再生エネルギーと協同組合		
研究者報告	古沢広祐 (國學院大学経済学部) 「地産地消、エネルギーの集中から分散へ」	9:55~10:25
実践者報告	桜井薫 (自然エネルギー事業協同組合 REXTA) 「市民と小規模事業者の協働が自然再生エネルギーの未来を拓く」	10:25~10:55
質疑応答		10:55~11:15
＜第2部＞社会連帯と協同組合		
研究者報告	柳沢敏勝 (明治大学商学部) 「不安定就労と社会の貧困化」	11:15~11:45
実践者報告	菊池謙 (ワーカーズコープちば) 「フードバンク活動を通じた地域の協同の取り組み」	11:45~12:15
質疑応答		12:15~12:35
昼食 (60分)		
＜第3部＞参加型福祉と協同組合		
研究者報告	堀越栄子 (日本女子大学家政学部) 「社会が支え、市民が支え合う生活」	13:35~14:05
実践者報告	中村八重子 (南医療生協) 「ささえあい たすけあい 地域だんらん まちづくり」	14:05~14:35
質疑応答		14:35~15:55
休息 (10分)		
＜第4部＞全体討議 「パラダイム転換期における協同組合の社会的価値、あり方」		
質問用紙に基づく討議・自由討議		15:05~16:05
座長まとめ		16:05~16:15
閉会挨拶		16:15~16:20

○座長の問題提起 志波早苗 (パルシステム生活協同組合連合会)

日本の現在をどのように捉えるか？エコノミストの水野和夫氏は16世紀資本主義が始まって以来の地殻変動が起きていると述べ、「近代の終焉」を説いている。日本の状況をみれば

明らかで、財政、制度、人口構成の上に自然災害と人災も加わり、未曾有の事態に人々はあまねく不安を抱いている。今こそ利潤や効率よりも「人間に価値をおき、社会的な絆で結ばれた協同組合の出番」である。産業革命の時代から協同組合は人々の暮らしに寄り添い、もう一つのオルタナティブなあり方を実践してきたではないか。

しかしながら今、協同組合セクターはこの時代、この事態に対応できているのだろうか？

春季大会「グローバル化に対する協同組合の対応と対抗」では、協同組合を「食」・「労働」・「医療」という事業領域で解体した。報告者からそれぞれについて忌憚ない問題提起がなされた。秋季大会ではその鋭利な問題提起を受けつつ、国際協同組合年でもある本年、協同組合という仕組みそのものに焦点をあて、その可能性を突き詰め、解体から統合へ議論を進めたいと考える。

最初の株式会社発生から400年、近代的協同組合は200年、資本主義の成長・発展の中でも協同組合という仕組みは営々と生き残ってきた。現代の金融資本主義が牽引するグローバル化の嵐の中で、「持続可能な地域・社会」を形成するために、協同組合はどのように人の暮らしに伴走したらよいのだろうか。

春季大会では、「農」の6次産業による地域ブランド化、これはイタリアのスローフード運動に通じるものであったと思う。「労働」では、正規・非正規という対立的考察への疑義と、生存権を根底にした人間らしい労働のあり方、「医療」では、国民皆保険制度における功罪と、

今後の社会を展望して地域主権・住民主権の医療サービスへの転換、などの示唆を受けた。どれも“あなた任せ”では解決しない。人々が何らか主体的な関わりをもって、問題解決にあたってゆかねばならないであろう。

今大会の共通論題を「パラダイム転換と協同組合」とし、「自然再生エネルギー」・「社会連帯」・「参加型福祉」をテーマに、持続可能な地域・社会をどのように構築していくのか、総論では問題の整理と課題を抽出し、課題解決の一つの事例として実践を報告いただく。最後に「パラダイム転換期における協同組合の社会的価値、あり方」について考察する。会場からの意見交換も活発に行いたい。

歴史ある協同組合セクター、農協、生協、共済、金融などのもつ人的資源、経営資源・インフラは日本社会を考える上で大きな財産である。どのように活用されれば、「暮らしの安心・安全」に寄与できるのか。巨大になった協同組合の仕組みやこれまで培ってきた資源は、人のくらしや社会で活かしてもらってこそ、協同組合自身のこれからの発展もあるのではないだろうか。協同組合セクターの資源、インフラ、システム、何より志を集めて、小さな実践活動を支援する大きな輪をつくれまいだろうか。歴史ある協同組合がその内外にテーマごとの日本型社会的協同組合を縦横自在に、しかし、モジュールのように組み合わせるハイブリッドなあり方について検討できたらというのが、座長としての私の思いでもある。

今大会開催地が福井ということにも、大きな意味と意義があると考えます。

記念講演

今年度は国際協同組合年のため、記念講演を企画しました。一般の方も含め、多くの方にご参加を呼び掛けてください。

日 時：9月29日（土）16：30～17：10

会 場：福井県立大学（福井キャンパス）共通講義棟 L108 教室

テーマ：「国際協同組合年の意義～日本の協同組合の課題と期待」

講 師：賀川督明さん（賀川豊彦記念館館長）

会員総会

大会シンポジウムに続き、以下のように会員総会を開催します。多くの会員の皆様のご出席を期待します。

日 時：9月29日（土）17：10～18：00

会 場：福井県立大学（福井キャンパス）共通講義棟 L108 教室

主な議題

- ①2011 年度事業報告および2012 年度事業計画
- ②2011 年度決算報告および2012 年度予算
- ③会則の改正
現在：第 8 条 本会に会長、副会長を3名以内、理事 36 名及び監事 2 名の役員を置く。
改正案：第 8 条 本会に会長、副会長を3名以内、理事 36 名以内及び監事 2 名の役員を置く。
- ④その他

懇親会

日 時：9月29日（土） 18:30～20:30

会 場：JR 福井駅東側(徒歩1分) A O S S Aビル3階 ウェルアオッサ
〒910-0858 福井市手寄1丁目4-1 TEL：0776-25-0400

参加費：参加申込ハガキで事前に参加申込をされた方は、一般会員 4,500 円、学生会員 3,000 円です。
当日参加者は、一般会員 5,000 円、学生会員 3,500 円とします。準備の都合上、できるだけ参加申込ハガキで事前に申し込んで下さい。なお、懇親会参加費振込後は返金いたしません。
福井の食材を使った料理と地酒をご用意しております。奮ってご参加ください。

2011 年度日本協同組合学会 第3回理事会開催案内

第32回大会前日の9月28日（金）に、2011年度第3回理事会が下記の要領で開催されます。
理事の皆さまは、ご出席くださいますよう、ご案内いたします。詳細は別便でお送りします。

日 時：9月28日（金）18:00～20:00

会 場：福井県農業会館3階 JA福井県中央会会議室
（JR福井駅西口より徒歩3分、県庁向かい側）

〒910-0005 福井市大手3丁目2-18 TEL0776-27-8210（JA福井県中央会管理課）

主な議題：①2011 年度事業報告および2012 年度事業計画
②2011 年度決算報告および2012 年度予算
③その他

※第3回理事会に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

J C総研（日本協同組合総合研究所）協同組合研究部内

日本協同組合学会事務局 松岡公明 TEL:03-6280-7254 FAX：03-3268-8761

E-mail:kyodo-gakkai@jc-so-ken.or.jp

日本協同組合学会 第31回大会個別論題報告の募集

第32回大会第2日目、9月30日（日）午前9:30～12:00に個別論題報告が行われます。

個別論題報告の申し込み及び報告要旨原稿提出の締め切りは8月31日までです。（締切厳守）

多数のご応募を期待しています。

個別論題申し込みおよび要旨提出先は、以下のとおりです。

〒100-6837 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル JA全国監査機構 杉林 剛

TEL 03-6665-6320 FAX 03-3217-5074 メールアドレス sugibayashi-go@zenchu-ja.or.jp

【申し込み要領】

下記を明記してメールで応募してください。

- ①報告の論題（タイトル）⇒出来る限り変更のないようにしてください。
- ②会員氏名

③所属機関

④パワーポイント使用の有無（ソフトはoffice2010の予定です）

【個別報告要旨原稿の書き方及び提出方法】＊厳守してください。

個別報告を申し込まれた方は、下記の要領で原稿を作成して提出してください。

★2012年8月31日(金)必着です。締切を厳守してください。

要旨集はオフセット印刷により作成されます。オフセット印刷とは、著者の原稿（A4判）をそのまま原版とし、本誌と同じ大きさ（B5判）に縮小して製版・印刷するものです。

①用紙：原稿は必ずA4判の用紙を使用し、和文タイプライターまたはワードプロセッサで印字のうえ提出してください。個別報告の要旨は一題につき1枚（1344字）以内とします。

②文字の色と大きさ：印字の色は黒を使用してください。活字の大きさは10.5ポイントあるいはそれに準ずる大きさでお願いします。英文の場合も和文活字に準じた大きさでお願いします。文字の大きさは必ずしも10.5ポイントでなくても結構ですが、その場合、後述のように、用紙の余白、1行文字数（42字）、1頁行数（36行）になるように調節してください。

③本文の文字数と組版方式：用紙に印字される際には次の要領を必ず守ってください。

●A4判用紙に横組で、余白を上18mm、下20mm、左右22mmずつとって、1行42字で36行（1512字、英文の場合450語）になるようにしてください。（この場合、1行は16.6cmの幅になり36行は上下26.0cmになります。）

●1枚目には論題、氏名、所属機関を印字してください。活字の大きさは論題16ポイント、氏名と所属機関12ポイントでお願いします。1行あけて本文の印字をお願いします。（この分で通常の5行分に相当します。）

したがって、文字数は、1枚目用紙は和文1302字（1行42字で31行）・英文の場合は400語、2枚目以降の用紙は1512（1行42字で36行）・英文の場合は450語以内になります。

●図・表も字数内で原稿用紙に張り付けてください。

●ページは鉛筆で用紙の右下に記入してください。

④原稿の提出方法：Eメールの添付ファイルでお願いいたします。

⑤原稿の提出の際、氏名・連絡場所の住所・電話・E-mailアドレスをお知らせください。

9月30日（日） 地域シンポジウム

日 時：9月30日（日） 13:00～16:30

会 場：福井県立大学（福井キャンパス）共通講義棟 L108 教室

テーマ：「食と農、くらしと地域を守る協同組合—福井県協同組合の実践—」

<趣 旨>

行き過ぎた市場原理主義への反省や、東日本大震災以降、人と人との絆づくりとコミュニティの再生が課題になる中で、食と農林漁業、くらしと地域を守る協同組合の活動がますます重要になってきている。本シンポジウムでは、福井県内の各種協同組合の実践報告をもとにして活動を交流し、協同組合の役割や存在意義、今後の協同組合間協同のあり方などについて考える機会とする。学会員のみならず、協同組合関係者や広く県民にも公開して開催する。

コーディネーター 北川 太一（福井県立大学）

報告①「漁業体験を通じた地域漁業の振興と漁村活性化」

谷口芳哉（美浜町漁業協同組合 総括課長）

報告②「間伐材の有効利用を通じた地域林業の振興と組合員とのつながり強化」

高松武法（美山町森林組合 参事）

報告③「中山間地と街なかの暮らしを支える買い物弱者支援」

竹生正人（福井県民生協同組合 理事長）

報告④「農産物直売所を核とした食と農を守る活動と女性起業」

森下耕一（福井市農業協同組合 代表理事理事長）

コメンテーター 根岸久子(JC 総研)

10月1日(月) エクスカーション

企画趣旨

前日の地域シンポジウムの内容と連動させながら、ご報告があった生協、農協、森林組合の現場を視察し、最後に、曹洞宗大本山永平寺を訪れて学会の疲れを癒していただきます。

コース(予定)

8:30 JR福井駅東側ロータリー出発

・福井県民生協ハーツ羽水(うすい)

店舗、移動店舗の出発地、子育て支援、介護施設などの複合的施設

・JA福井市・農産物直売所「喜ね舎」(きねや)

生活指導事業から積み上げた農産物直売所と女性による企業組合の取り組み

・美山町森林組合小径木加工場

間伐材をいろいろな用途に加工し、付加価値をつけて販売する取り組み

・永平寺観光(精進料理、講話・座禅体験、管内見学など)

16時頃 JR福井駅解散

参加費 4000円

*最小人員15名、最大25名程度

宿泊について

JR福井駅周辺にホテル等があります(大学周辺には宿泊施設はありません)。また、大学から車で20-30分程度のところに芦原温泉や山中温泉(石川県)があり宿があります。

季節柄、福井市内でも各種の研究集会在開催される予定ですので、宿泊の手配は早めにされることをお勧めします。

(株)農協観光(N Tour)福井支店で、宿泊・チケットの手配などを斡旋します。下記担当者まで何なりとご相談ください。

(株)農協観光(N Tour)福井支店 〒910-0005 福井市大手3-2-18

担当: 中谷(なかや)、前田 TEL: 0776-27-1255、FAX: 0776-21-3716

メールアドレス mitsutaka.nakaya@ntour.co.jp

shinya.maeda@ntour.co.jp

会場案内(アクセス)

福井県立大学・福井キャンパス(大会シンポジウム, 個別論題報告, 地域シンポジウム等)

住所: 〒910-1195 福井県吉田郡永平寺町松岡兼定島4-1

※福井県立大学(福井キャンパス)へのアクセス <http://www.fpu.ac.jp/access/>



★ 無料送迎バスの運行について

J R福井駅から大学は約 10 キロ離れており、路線バスなど公共交通も、特に土・日曜日は本数が少なく不便です。そこで、9/29（土）と9/30（日）は、J R福井駅⇄福井県立大学（福井キャンパス）間で無料送迎バス（最大 53 人乗り）を運行します。（参加申し込み状況によって、台数を変更する場合があります）

<往路> J R福井駅東側を出たところのロータリーより

9/29（土） 8時40分出発（2台）

9/30（日） 8時20分出発（2台）

<復路>（J R福井駅行き）

9/29（土）総会終了後（2台）

9/30（日）個別論題報告終了後（12時30分頃、1台）

地域シンポジウム終了後（17時頃、1台）

<参考>

□ J R福井駅より

自動車・タクシー 約 20 分（タクシー料金、約 3,400 円）

バス J R福井駅市内バスのりば（福井駅西側 徒歩 3 分）

11 番のりばから 大学病院線「県立大学」下車（所要時間約 30～35 分、590 円）

J R福井駅発、県立大学行きのバス時刻表（土・日祝日用）

7時50分（33系統）、8時10分（34系統）、9時20分（34系統）、

10時20分（33系統）、11時20分（34系統）、12時12分（35系統）、

12時20分（34系統）、13時20分（33系統）

*2012年7月1日現在の時刻表です。変更される場合もあるので福井県立大学のホームページ交通案内のサイトなどでご確認ください。

□ 小松空港より

福井行き空港バスで北陸自動車道・福井北 I.C 下車。福井北 I.C から車で約 10 分

福井北 I.C から大学までの路線バスはありません。タクシーを呼び出してください。

松岡タクシー TEL : 0776-61-0580 フリーダイヤル 0120-717-580

高志タクシー TEL : 0776-61-0055 フリーダイヤル 0120-203-425

福井交通タクシー TEL : 0776-23-0108

◎会員メーリングリストへの登録のおさそい◎

当学会では、会員どうしの情報交換、学会からのお知らせ等のためのメーリングリストを開設しております。現在、約 140 名の方が登録されています。メーリングリストへの登録をご希望の方は kyodo-gakkai@jc-so-ken.or.jp へご連絡ください。

重要

名簿作成にあたって

今年度は名簿を作成する年となっています。

変更等のある方は 7月末までに事務局へご連絡ください。

